

2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年2月9日

上場会社名 株式会社 北川鉄工所 上場取引所 東
 コード番号 6317 URL https://www.kiw.co.jp/
 代表者 (役職名)代表取締役会長兼社長執行役員 (氏名)北川 祐治
 (役職名)代表取締役副会長執行役員 (氏名)北川 宏 (TEL)0847(45)4560
 問合せ先責任者 兼 経営管理本部長
 四半期報告書提出予定日 2024年2月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	45,789	8.3	1,204	—	1,834	622.4	1,427	—
2023年3月期第3四半期	42,273	2.8	△380	—	253	△84.7	△367	—

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 2,545 百万円 (22.8%) 2023年3月期第3四半期 2,073 百万円 (53.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	154.60	—
2023年3月期第3四半期	△39.68	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	79,771	39,236	49.2
2023年3月期	74,480	37,066	49.5

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 39,230 百万円 2023年3月期 36,864 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	30.00	—	0.00	30.00
2024年3月期	—	0.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	40.00	40.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	61,450	2.9	1,250	541.2	1,850	78.8	1,100	—	119.16

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年3月期3Q	9,650,803株	2023年3月期	9,650,803株
2024年3月期3Q	420,062株	2023年3月期	419,082株
2024年3月期3Q	9,231,252株	2023年3月期3Q	9,264,468株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2023年4月1日~2023年12月31日)における世界経済は、ウクライナ情勢の長期化、世界的な金融引締め、中東情勢の緊迫化などの影響により、欧州が弱含みで推移し中国も足踏み状態となるなど、全体として緩やかに減速しています。一方、国内経済は、消費者物価の上昇や海外景気の下振れが国内景気を下押しするリスクはあるものの、回復基調で推移しました。

このような経営環境下において、当社グループは長期経営計画「Plus Decade 2031」で掲げる世界基準の成長を目指し、事業構造の転換、経営品質の進化、人材育成などの施策を中長期的な視野で推進してまいりました。

当第3四半期連結累計期間は、金属素形材事業において原材料価格およびエネルギー価格の高騰分の価格転嫁が進み売上が増加したこと、自動車部品の生産量も回復したため、グループ全体の売上高は前年同四半期比で増加しました。また、営業利益につきましても、工作機器事業および産業機械事業は売上の減少や高騰した原材料価格の価格転嫁の遅れ等の理由により前年同四半期比で減益となったものの、金属素形材事業が売上増加に伴い営業利益が大幅に改善したため、グループ全体では前年同四半期比で増加となりました。

その結果、グループ全体の売上高は、45,789百万円(前年同四半期比 8.3%増)、営業利益は、1,204百万円(前年同四半期営業損失 380百万円)、経常利益は、1,834百万円(前年同四半期比 622.4%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は、1,427百万円(前年同四半期親会社株主に帰属する四半期純損失 367百万円)となりました。

セグメントごとの業績は、次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、セグメントの概況の記載順序を変更しております。

キタガワ グローバル ハンド カンパニー (工作機器事業)

工作機械業界は、全体的に力強さに欠ける状況になっています。内需につきましては、半導体製造装置や自動車関連の設備投資が引続き低調に推移し市況は低迷しています。外需につきましては、欧米市場は設備投資に動きが見られたものの、中国市場は景気減退による先行きの不透明感から設備投資に慎重な姿勢が見られました。

このような状況のもと、当カンパニーでは既存顧客との関係強化に加え、今後成長が期待できるメキシコやインドを中心に海外販売の拡大を図ってまいりました。

しかしながら、当第3四半期連結累計期間における当カンパニーの売上高は、アジアを中心に自動車向けなどの売上が減少したことにより、6,954百万円(前年同四半期比 4.1%減)となりました。また、セグメント利益(営業利益)につきましても、売上の減少にともない、581百万円(前年同四半期比 34.6%減)となりました。

キタガワ サン テック カンパニー (産業機械事業)

国内の建設業界は、公共投資につきましては「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」を背景に防災・減災対策、都市開発などを中心に底堅く推移しています。また、民間建設投資につきましても、一部で弱含みが見られますが、堅調な企業収益を背景に全体としては底堅く推移しました。

このような状況のもと、引き続き当カンパニーでは環境問題に対応した新たなコンクリートプラント設備の開発、ビル建設用クレーンの技術を活用した商品開発による新市場の開拓、スーパーロングスパンタイプ立体駐車場の拡販に努めてまいりました。

当第3四半期連結累計期間における当カンパニーの売上高は、コンクリートプラントの改造工事が引き続き好調を維持したことにより15,506百万円(前年同四半期比 1.4%増)となりました。しかしながら、セグメント利益(営業利益)につきましては、原材料価格の高騰などにより荷役機械事業および立体駐車場事業の利益が減少したため933百万円(前年同四半期比 8.2%減)となりました。

キタガワ マテリアル テクノロジー カンパニー (金属素形材事業)

自動車業界は、部品の供給不足の問題が解消され、世界の自動車販売台数は前年同四半期比で増加し回復基調で推移しました。一方、農業機械・建設機械業界につきましては、北米の金利上昇や中国でのエンジン需要の低下などの影響により市場が弱含みで推移しており、先行き不透明な状態です。

このような状況のもと、当カンパニーでは高騰した原材料およびエネルギー価格の販売価格への転嫁、生産コストの低減を推し進め、収益確保に努めてまいりました。また、メキシコ子会社では自動車のEV化が進展する中でも継続的に

需要が見込める駆動系部品の受注に注力してまいりました。

当第3四半期連結累計期間における当カンパニーの売上高は、自動車メーカーの生産量の回復により自動車部品の売上が堅調に推移したため22,260百万円（前年同四半期比 14.2%増）となりました。また、セグメント利益（営業利益）につきましても、自動車部品の売上増加に伴い営業利益が改善したため、198百万円（前年同四半期セグメント損失（営業損失） 1,713百万円）となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、棚卸資産の増加などにより、前連結会計年度末に比べて5,291百万円増加し、79,771百万円となりました。

負債は、借入金の増加などにより、前連結会計年度末に比べて3,121百万円増加し、40,535百万円となりました。

純資産は、利益剰余金の増加などにより前連結会計年度末に比べて2,169百万円増加し、39,236百万円となりました。純資産から非支配株主持分を差し引いた自己資本は39,230百万円となり、自己資本比率は49.2%となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、直近の業績動向を踏まえ、2023年11月10日に公表しました業績予想の内容を修正しております。

詳細につきましては、本日（2024年2月9日）公表の「連結業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,413	9,906
受取手形、売掛金及び契約資産	12,605	10,640
電子記録債権	6,502	7,160
商品及び製品	3,979	4,560
仕掛品	4,687	7,075
原材料及び貯蔵品	3,038	3,192
その他	810	1,017
貸倒引当金	△18	△16
流動資産合計	40,018	43,536
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,635	7,552
機械装置及び運搬具（純額）	12,083	12,217
その他（純額）	6,912	6,384
有形固定資産合計	25,631	26,154
無形固定資産		
のれん	—	644
その他	604	571
無形固定資産合計	604	1,216
投資その他の資産	8,226	8,864
固定資産合計	34,461	36,235
資産合計	74,480	79,771

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,314	4,451
電子記録債務	6,761	6,578
短期借入金	3,810	5,435
1年内償還予定の社債	—	10
1年内返済予定の長期借入金	2,359	4,389
未払法人税等	279	364
賞与引当金	547	151
製品保証引当金	99	48
工事損失引当金	24	—
その他	4,730	4,828
流動負債合計	23,927	26,257
固定負債		
社債	—	5
長期借入金	7,514	7,513
環境対策引当金	30	29
退職給付に係る負債	5,241	5,534
その他	699	1,195
固定負債合計	13,486	14,277
負債合計	37,413	40,535
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,640	8,640
資本剰余金	5,084	5,080
利益剰余金	20,103	21,346
自己株式	△793	△794
株主資本合計	33,034	34,273
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,579	1,705
為替換算調整勘定	2,259	3,220
退職給付に係る調整累計額	△9	30
その他の包括利益累計額合計	3,829	4,957
非支配株主持分	202	5
純資産合計	37,066	39,236
負債純資産合計	74,480	79,771

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年12月31日)
売上高	42,273	45,789
売上原価	37,893	39,666
売上総利益	4,379	6,123
販売費及び一般管理費	4,759	4,919
営業利益又は営業損失(△)	△380	1,204
営業外収益		
受取利息	39	87
受取配当金	111	94
持分法による投資利益	202	113
為替差益	114	237
スクラップ売却益	150	189
その他	133	212
営業外収益合計	751	934
営業外費用		
支払利息	115	228
その他	2	75
営業外費用合計	117	304
経常利益	253	1,834
特別利益		
固定資産売却益	98	—
投資有価証券売却益	—	587
助成金収入	—	105
特別利益合計	98	693
特別損失		
固定資産売却損	20	—
固定資産除却損	172	223
製品保証引当金繰入額	16	—
事業構造改革費用	241	—
特別損失合計	450	223
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△97	2,303
法人税、住民税及び事業税	154	560
法人税等調整額	267	343
法人税等合計	422	904
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△519	1,399
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△152	△27
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△367	1,427

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△519	1,399
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	202	126
為替換算調整勘定	2,232	938
退職給付に係る調整額	89	41
持分法適用会社に対する持分相当額	68	39
その他の包括利益合計	2,593	1,146
四半期包括利益	2,073	2,545
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,939	2,555
非支配株主に係る四半期包括利益	134	△9

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				計	その他 (注)	合計
	キタガワ グローバル ハンド カンパニー	キタガワ サン テック カンパニー	キタガワ マテリアル テクノロジー カンパニー				
売上高							
外部顧客への売上高	7,250	15,291	19,496	42,038	235	42,273	
セグメント間の内部 売上高又は振替高	7	0	128	135	0	135	
計	7,258	15,291	19,624	42,173	235	42,409	
セグメント利益又は損失 (△)	890	1,016	△1,713	193	△139	53	

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、特機事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	193
「その他」の区分の損失(△)	△139
全社費用(注)	△434
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△380

(注) 主に提出会社の管理部門に係る費用及び各セグメント共通の費用で便益の程度が直接把握できない費用部分であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	キタガワ グローバル ハンド カンパニー	キタガワ サン テック カンパニー	キタガワ マテリアル テクノロジー カンパニー	計		
売上高						
外部顧客への売上高	6,954	15,506	22,260	44,721	1,068	45,789
セグメント間の内部 売上高又は振替高	90	0	112	202	—	202
計	7,044	15,507	22,372	44,923	1,068	45,992
セグメント利益又は損失 (△)	581	933	198	1,713	71	1,784

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、特機事業及び半導体事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,713
「その他」の区分の利益	71
全社費用(注)	△580
四半期連結損益計算書の営業利益	1,204

(注) 主に提出会社の管理部門に係る費用及び各セグメント共通の費用で便益の程度が直接把握できない費用部分であり、子会社株式の取得関連費用が含まれております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「その他」において、第2四半期連結会計期間にケメット・ジャパン株式会社及びシステム精工株式会社を株式の取得により子会社化したため、のれんが増加しております。当該のれんの増加額は当第3四半期連結累計期間において666百万円であります。

なお、のれんの金額は、当第3四半期連結会計期間末においては、取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額であります。